



友好関係のあかし 「ベルビュー通り」の銘板設置

ベルビュー市との友好関係を周知し、国際交流を深めていくために、長瀬川の一部区間を「Bellevue Street(ベルビュー通り)」と愛称命名し、銘板を設置しました。

令和元年11月、八尾市から市長を団長とする訪問団がベルビュー市を訪問、姉妹都市提携50周年記念式典において、50年間続く両市の友好関係のあかしとして、ベルビュー市にある八尾ガーデンに隣接するメインストリートの1つに「Yao City Drive(八尾市通り)」という名誉称号がつけられました。



これを受け、本市においても、国際交流都市の記念碑の設置や国際交流の展示を行う本町

第2公園に「国際交流パーク」、八尾市民に愛され大切にされている長瀬川の一部区間に「Bellevue Street(ベルビュー通り)」という愛称を設け、7か所に銘板を設置しました。



大松市長と八尾市姉妹都市提携協会灘会長

稲垣 在シアトル日本国総領事よりご挨拶



八尾市姉妹都市提携協会会員の皆様、八尾市の皆様、はじめまして。

在シアトル日本国総領事の稲垣久生と申します。大松市長、灘会長をはじめ皆様様が、半世紀を超える長き間、ベルビュー市と活発な交流を続けておられることに深い敬意と感謝を申し上げます。

さて、ご存じの通り、ベルビュー市には日系移民の長い歴史があり、かつては50家族以上が2平方キロもの農場でイチゴ栽培等を行っていた記録もある由ですが、現在も多くの日本人・日系人が住んでいます。新型コロナウイルスの世界的なパンデミック、そしてアメリカ国内におけるヘイトクライムや連日の銃撃事件といった暗い話題が続くなか、八尾・ベルビュー両市が友好の証しとしてお互いに相手の名前を冠した通りの標識を設置されたというニュースは、日米両国の人々の心を明るくし、勇気づけるものとなりました。

引き続き、今後とも八尾市姉妹都市提携協会やベルビュー市姉妹都市協会などの関係者の皆様との連絡を密にしながら、これからも両市の市民どうしの草の根の交流が続きますよう、そして日米友好親善関係がより進みますよう、当館からできる限りのご支援をして参りたいと考えています。まだパンデミックが続いてはいますが、日米両国においてはワクチン接種が進むなど明るい兆しも見えます。一日も早く両市市民の皆様のパンデミック前に行われていた活発な交流が再開されますよう、また2019年に姉妹都市提携50周年記念訪問が行われた両市の関係が将来に向けて更に発展していきますよう心より祈念いたしております。

